

2018年6月13日

於こひつじ園 大門正幸（中部大学・バージニア大学）

「子供が親を選ぶ」ってホント？ ～「胎内記憶」から親子の絆を考える～
アンケート結果

回答数：13

(1) 性別

女性（97.6%）

女性	男性
13（100.0%）	0

(2) 年代

30代	40代
8（61.5%）	5（38.5%）

(3) 講演について

とても良かった	良かった	どちらとも言えない	悪かった	とても悪かった
10（76.9%）	3（23.1%）	0	0	0

(4) 講演を聞いてお子さんを思う気持ちは

とても強くなった	強くなった	変わらない	弱くなった	とても弱くなった
9（69.2%）	4（30.8%）	0	0	0

(5) 感想（自由記述）

・「かみさまとのやくそく」の映画は以前観させていただいたのですが、今日実際にお話を聞くと、より心に響いてきました。守らなければならないと思っていた存在に、実は守られていた・・・と思うと、小さい体で100%愛情をくれる子供がとても健気で、愛おしく思えました。ありがとうございました。

・娘は***なので、言葉を発することが少ないですが、いつか話してくれたらいいなあと思いました。私も2回流産しているので、娘が「ママを守るために産まれてきた」と思ってくれているとしたら、すばらしいことだと思います。「脳がこわれている人は、心がこわれている」ということではないと聞き、とても勇気づけられました。科学が絶対ではないのですね。

・反抗することが多くイライラしてしまいがちですが、静かな時間に2人で話をしようと

思いました。もしかすると何か教えてくれるかもしれませんね。一緒に過ごせる時間を大切にしていこうと思います。

・かみさまとのやくそく、2回みました。年中の娘が4、5ヶ月のころと2才のとき、「お母さんを幸せにするために生まれてきた」と聞いて、生まれて数ヶ月の大変なとき、自己が出てきた2才のころに見れて感動したことを思い出しました。無じょうけんに母を愛してくれる娘をあたたかく見守っていきたいと思います。

・うちの娘は、反対になんで生まれてきたの〜？ と聞いてくるので、胎内記憶は全くなさそうなのですが、このようなお話を聞けて、それだけでもとっても満たされました。産院でこのお話を聞く機会があれば、ぎゃくたいが少なくなるのでは・・・と思いました。

・改めて子供との関係を考えるいい機会でした。自分も何のために産まれてきたのかなーと今さらふと考えました。

・胎内記憶について詳しく知っていた訳ではないのですが、自分達は大いなる存在の一部であり、成長という目的のため生まれてきた、という人生観にとっても共感しました。私はお話の中に出てきたまきこさんと同じように第一子の息子の育児で「思い通りにしたい」気持ちが凄く強く、息子とぶつかる中で子供を親の鋳型にはみえて教育しようというのはまちがいだ、子供は元々、成長したいと思って生きてるのだから、ありのまま受け止めよう、と心が変わっていきました。今、第2子が3ヶ月なのですが、一昨年流産を経験しているので、流産した子が優先順高くやってくる、という話にいやされました。命が生まれ育っていく奇跡を改めて感じ、自分という母親を選んでくれた感謝の気持ちが強くなりました。かけがえのない1日1日を大切に息子達と生きていきたいと思います。

・たくさんの中から選んで私の子供としてうまれてきてくれたことをもう一度思い出し、丁寧に子育てをしていこうと思います。我が子の使命を果たせるお手伝いをさせてもらいながら日々すごしていきたいと思います。本当に心温まるステキなお話をしていただき、ありがとうございました。

・親が思う以上に子供は親を大事に思って生まれてきてくれたんだなと強く感じました。

・「ママを守るために産まれてきた！」なんて素敵なことばなんでしょう。子どもには感謝のことばしかありませんね・・・先生のことばで、「娘にしてあげられることがまだあった!!」ということば、心にひびきました。

・とても勉強になりました。また遊びに来てください。ぜひ子供にも歌をうたってあげてください。

・4才の息子に対してというより、10才の娘に対して、愛おしいというか、もっと優しく接したいという気持ちになりました。愛おしいと思う気持ちはあるものの、つついガミガミ怒ってしまうことが多いので、もっと大切に一緒の時間をすごせたらよいな、と思います。

(6) 子供の胎内記憶について

語ったことがある	語ったことはない
4 (30.8%)	9 (69.2%)

(7) 子供の胎内記憶の内容（重複回答あり）

生まれた時の記憶	おなかの中の記憶	お空の記憶	前世の記憶
0	3	1	0

(8) ご自身の胎内記憶について

ある	ない
1 (7.7%)	12 (92.3%)

(9) 子供の記憶（自由記述）

(A) おなかの中の記憶

- ・お腹のなかはあたたかくて気持ちよかった
- ・おへそから外を見てたよ。あたたかくて気持ち良かったと、4才ごろ話してました。
- ・お腹の中のかんきょうについて聞きました。その後、何年かたって TV で出産シーンがあった時、少しふるえて「怖かった」と言っていました。

(B) お空の記憶

- ・2才～3才のころ（次男）、お空からママのことを探して、お空からとんできたんだよーとはなしてくれた。もう、はなしてくれませんが

(10) 親の記憶

(A) おなかの中の記憶

- ・記憶なのか、夢として20才ぐらいまでみていた。どちらかというの良い夢ではなかったですけど。